

まちづくり会議での決定事項と検討状況について

資料1

H26.3発足

宮津まちづくり会議

『地域資源を活用し、人が集い行き交う、賑わいのある場所づくり』

第5回会議
承認事項
目指すべき
方向性

- ①北前船が行き交う城下町・宮津の栄華を現代に伝える豊かな町並み、また受け継がれる貴重な伝統、コミュニティを活かし、暮らす人々、集う人々にも魅力的な場所にする。
- ②山海の食材を活かした商業の活性化を図り、地域経済の循環を生み出す場所とする。
- ③海路と陸路の結節点という地理的条件を活かし、丹後地域の中核都市としての機能を再構築し、さらには日本海側観光の要衝としての機能をもつ場所にする。

集客・地域振興拠点

- ・直売所
- ・飲食店、レストラン
- ・キッズスペース、図書館
- ・足湯 など

公園の利活用

- ・芝生化
- ・遊歩道の整備
- ・多目的スペース(スポーツ施設、ペップキッズガーデン、ライブハウス) など

海の活用

- ・海上交通の活用
- ・汽船場の移設、新設
- ・親水公園
- ・釣り堀、魚釣り、漁業体験
- ・海床 など

市街地活性化

- ・商店街活性化
- ・若手育成、おもてなし
- ・空き店舗活用
- ・まちなみ環境整備 など

目指すべき方向性を実現するために、必要な機能を、全体WGで意見集約

【ワーキングを設置して具体的事業に向けた計画を策定】

○役割…商業者や利用者など、担い手になる可能性のある方を中心に、具体的に何をしていくのか決めていくもの

<WGの設置>

【浜町再構築WG】

○エリア…国道176号線より海側のエリアを想定

【浜町周辺まちづくりWG】

○エリア…まちなか

○実施状況…3回実施

集客・地域振興拠点の内容を中心に協議中

公園、海等の利活用部分は未実施

企画会社(株)WAVEより素案を提示し協議

<実施状況>

○実施状況…未実施

各WGの守備範囲

集客・地域振興拠点

- ・直売所
- ・飲食店、レストラン
- ・キッズスペース、図書館
- ・足湯 など

公園の利活用

- ・芝生化
- ・遊歩道の整備
- ・多目的スペース(スポーツ施設、ポップキッズガーデン、ライブハウス) など

海の活用

- ・海上交通の活用
- ・汽船場の移設、新設
- ・親水公園
- ・釣り堀、魚釣り、漁業体験
- ・海床 など

浜町再構築WG

市街地活性化

- ・商店街活性化
- ・若手育成、おもてなし
- ・空き店舗活用
- ・まちなみ環境整備 など

浜町周辺まちづくりWG

リードすべき地域
新浜・魚屋・本町・
駅前・(中町)

これまでの検討状況と今後のWGのあり方

H26.3発足

宮津まちづくり会議

『地域資源を活用し、人が集い行き交う、賑わいのある場所づくり』

第5回会議
承認事項
目指すべき
方向性

- ①北前船が行き交う城下町・宮津の栄華を現代に伝える豊かな町並み、また受け継がれる貴重な伝統、コミュニティを活かし、暮らす人々、集う人々にも魅力的な場所にする。
- ②山海の食材を活かした商業の活性化を図り、地域経済の循環を生み出す場所とする。
- ③海路と陸路の結節点という地理的条件を活かし、丹後地域の中核都市としての機能を再構築し、さらには日本海側観光の要衝としての機能をもつ場所にする。

集客・地域振興拠点

- ・直売所
- ・飲食店、レストラン
- ・キッズスペース、図書館
- ・足湯 など

公園の利活用

- ・芝生化
- ・遊歩道の整備
- ・多目的スペース(スポーツ施設、ペットキッズガーデン、ライブハウス) など

海の活用

- ・海上交通の活用
- ・汽船場の移設、新設
- ・親水公園
- ・釣り堀、魚釣り、漁業体験
- ・海床 など

市街地活性化

- ・商店街活性化
- ・若手育成、おもてなし
- ・空き店舗活用
- ・まちなみ環境整備 など

目指すべき方向性を実現するために、必要な機能を、全体WGで意見集約

<WG再編>

具体的事業に向けた計画策定

【浜町商業ゾーンWG】

- アドバイザー
大西副学長(京都産業大)
中澤駅長(菟しーまと)
- 全体WGを含め3回開催、今後1回～2回/1月ペース

※キー事業者(まごころ市、公設市場等)をはじめ、必要に応じて事業者等と個別に協議、意見聴取を予定。

【浜町及び浜町周辺まちづくりWG】

- コーディネーター: 京都府立大学
- 単独WG(全体としては3回目)は、11月下旬から2週間に1回ペースで実施予定
- 公園海辺ゾーンを優先的に議論(リード)
※商業ゾーンも含めて検討

中間報告案作成(12月末～1月中旬目途)

各WGの守備範囲

集客・地域振興拠点

- ・直売所
- ・飲食店、レストラン
- ・キッズスペース、図書館
- ・足湯 など

公園の利活用

- ・芝生化
- ・遊歩道の整備
- ・多目的スペース(スポーツ施設、ポップキッズガーデン、ライブハウス) など

海の活用

- ・海上交通の活用
- ・汽船場の移設、新設
- ・親水公園
- ・釣り堀、魚釣り、漁業体験
- ・海床 など

浜町及び浜町周辺まちづくりWG
⇒全体像を検討

浜町商業ゾーンWG
⇒コンテンツとして地域振興施設を具体化

市街地活性化

- ・商店街活性化
- ・若手育成、おもてなし
- ・空き店舗活用
- ・まちなみ環境整備 など

リードすべき地域
新浜・魚屋・本町・
駅前・(中町)

今後のWGの進め方(中間報告書～H26報告書まで)

11月～12月

12月～1月

1月～3月

3月～4月

まちづくりWG
浜町及び浜町周辺

●市街地の機能配置のあり方

- ・浜町商業ゾーン
- ・海辺
- ・島崎公園
- ・新浜、魚屋、本町、寺町
- ・KTR駅前 など

●各ゾーンに必要なコンテンツ

- ・公園の利活用
- ・海の活用
- ・商店街活性化 など

●集客・地域振興拠点形成の目的

- ・地域間交流の促進、交流人口の増加を図る拠点
- ・市民のための安心安全な地元食材の提供拠点～地産地消の推進拠点
- ・地域資源（海産物、農産物など）のブランド化促進拠点
- ・地元の漁業者、生産農家等による6次産業化拠点
- ・地域事業者の新規ビジネスの創出、新規商品開発の発信拠点 など

●実現への課題と戦略・コンテンツ

- ・事業者が取り組みたい事業アイデア など

中間報告書案の作成

・市街地各ゾーンの特徴

・集客・地域振興拠点の形成の必要性・目的

・ゾーン形成に必要なコンテンツ案

など

●市街地の各ゾーン間の利便性、回遊性の確保

- ・各ゾーンのコンテンツ配置
- ・公共交通のあり方
- ・景観形成の考え方 など

●各ゾーンの活性化に向けた戦略

- ・地域住民による自主活動
- ・行政、経済団体、大学等の連携・役割分担 など

●集客・地域振興拠点の具体化

- ・コンテンツ案の深化
- ・事業展開/整備イメージの具体化

●拠点形成の実現に向けた必要事項の整理

- ・リーダーの育成、確保
- ・拠点運営のあり方
- ・資金の確保 など

H26報告書案の作成

・今後のまちづくり推進のあり方

・市街地各ゾーンの特徴と利便性、回遊性

・効果的なゾーン形成コンテンツ

・集客・地域振興拠点のイメージ

など

浜町商業ゾーンWG